

運輸安全マネジメント取組み結果の評価

第59期(2021年4月1日～2022年3月31日)

1、概要

年間を通じ重大事故の発生は無かったが、物損事故2件、自損事故1件が発生し、目標を達成することが出来なかった。また、運転基本操作の習得を目的とした社内実技訓練は、実施したものの目標回数を達成できなかった。

健康起因事故防止のため、新型コロナウイルス感染対策のマスク・消毒液・ペーパータオル配布は切らすことなく実施できた。顔認証体温測定器及びアルコールディスペンサーの増設についても目標を達成した。また、安全研修会のリモート開催も目標を達成し、現時点で社内の感染者はゼロである。高血圧者に対する保健師からの特定保健指導も目標を達成し、これらにより健康起因による事故を防ぐことが出来た。

これからも、安全運転技術向上を目的とした研修会、健康起因による事故防止を目的とした健康管理の徹底について、継続的に実施する必要がある。

2、年間目標/結果

No.	項目	目標	実績	判定
1	新型コロナ感染を徹底的に予防・対策することで、高熱などの病状による事故を防ぐ	実行項目 100%	100%実施達成	○
2	内輪差、オーバーハングによる事故防止のため、運転基本操作について社内実技訓練を行う	年間 12 回	年間 6 回	×
3	健康起因事故防止のため、高血圧者に対し保健師からの特定保健指導を受けさせる	100%受診	100%受診 (13名)	○

(1)交通事故の結果

No.	項目	目標	実績	判定
1	人身事故	0 件	0 件	○
2	物損事故	0 件	2 件	×
3	自損事故	0 件	1 件	×

(2)運送の安全に対する投資：【目標:855 千円 /実績:882 千円】

No.	項目	目標	結果	判定
1	感染対策のためマスク、消毒液、ペーパータオルの配布	180 千円	90 千円	○
2	顔認証型体温測定器の増設	2 台(200 千円)	2 台(100 千円)	○
3	アルコールディスペンサーの増設	8 台(25 千円)	8 台(24 千円)	○
4	3 密回避のため安全研修会をリモートで開催	年 6 回	年 6 回	○
5	運転基本操作の徹底を目的とした安全意識低下の抑制のためドライブレコーダーの装着	45 千円×10 台	668 千円	○

No.5 のドライブレコーダーは、発生事故原因から巻き込み及びオーバーハングによる事故防止を目的としたサイドモニターに変更し、13 台に装着した。

(3)事故に関する統計(自動車事故報告規則第2条に規定される事故)

項目	目標	実績	判定
2021 年度	0 件	0 件	○

2022 年 4 月 1 日
山梨総合運輸株式会社
代表取締役 樋口恵一

本社営業所